

## \* 奥日光・湯ノ湖

ラムサール条約に登録された奥日光・湯ノ湖で5日、外来種の沈水植物「コカナダモ」の機械除草が始まった。

コカナダモは、繁殖力が強く浅い場所に群生。水中の窒素やリンを吸収して成長するため水質浄化機能がある一方、枯れると窒素などを大量に出すため、富栄養化を引き起こして水質を悪化させる。

外来植物の  
除草スタート

湯ノ湖では1973年に発見され、爆発的に数を増やしてきた。このため県と日光市が駆除と水質改善を目的に2001年度から毎年この時期に刈り取り機を使って除草している。担当

「コカナダモ」

者によると、例年、約20〜30トンを刈り取り、焼却処分しているという。

機械による作業は8日まで。13日には周辺住民らによる刈り取りと湖畔清掃が行われる。

刈り取り機で除草したコカナダモを集める作業員(5日、日光市の湯ノ湖で)

